

# 新設小学校校名検討に係る報告書

## (仮称)南部地区新設小学校校名検討会

### 1 検討結果について

私たち検討会委員は、(仮称)南部地区新設小学校の校名について、長久手町住民の意見を十分に聴くため、アンケート案の検討から集計及び分析評価を行い、最後の結論に至るまで充分かつ慎重に論議を尽くしてきました。最終の会議においては、委員全員がこの重責を果たすべく、教育的見地に立ち、最後の結論を導き出す努力をしまいいりました。その結果、「市が洞」が新設小学校の校名としてふさわしいと判断しました。

しかし、今回の結果につきましては、委員全員が一致した意見としての結論ではなく、「南が丘」を校名として推薦する委員も9名中4名存在しました。これは、各委員が校名を検討するうえで、基本的な考え方の相違に起因するものであります。充分な論議を尽くした結果においても、人の思考の多様性を認めるべきものと判断し、本検討会としては、この結果も重要であり、意見を付して報告することとします。

長久手町教育委員会におかれましては、この結論を理解していただいたうえで、適切にご判断をされるよう申し添えるものであります。

### 2 検討の経過について

本検討会は、長久手町教育委員会が決定した校名「市が洞」が議会で否決されたことにより、教育委員会から依頼を受けて校名について調査研究することとなった。

第1回の検討会では、「市が洞」が議会で否決された理由について、「手続きが充分でない」「プロセスに問題がある」「名前になじみがない」「多くの住民の意見を聞くべき」「名前が反対との理由は少数」等の説明を受け、次回に公募のあった24件(22公募案)から選ぶのか、追加公募するのか決めることとした。

第2回検討会では、公募のあった24件を含めて検討することとし、アンケートを実施することとした。アンケートの内容は、当初公募案を尊重しつつ希望する校名がない場合は、新たに校名を記入する方法を採用することとした。

第3回検討会では、アンケートについて慎重に内容精査し決定した。配布については、町内全小学校に対し児童を通じ配布し、学校で回収する。来年度の就学児にアンケートを送付し、回収する。自治会等を通じアンケートの協力を回覧でお願いし、同時にホームページ及びケーブルテレビでの

その周知を行い、アンケート用紙はホームページからダウンロードしてもらうこととした。

第4回検討会では、アンケートの集計結果を基に、校名の選考を行った。アンケート総数は、1,544件、当初公募から上位5件(1位「市が洞」240件、2位「南が丘」182件、3位「長久手の森」142件、4位「長久手南の森」140件、5位「けやき」72件)と当初公募以外の提案2件(「長久手南部」55件、「南部」39件)の計7件を候補とし、検討した。

最終的には、アンケート数、アンケートで記載された選択理由、長久手町立から始まる校名として紛らわしくならないこと、決定した校名の説明理由など各委員の多くの意見により、上位2案(「市が洞」、「南が丘」)に絞り、この2案から1案を選択することとした。最後に委員一人一人からどちらがより適切であるかを理由を付して発表してもらい、結果は、「市が洞」を推薦する委員は9名中、委員長を含め5名となり、最終結論となった。

なお、検討結果で意見を付しているとおり、「市が洞」以外の意見として、「校名を考える上でイメージを重視すべき」とする意見も過半数には達しないものの貴重な意見として捉え、意見を付して教育委員会へ結果報告することで全委員の承認を得た。

・ 検討会開催日

第1回検討会	平成19年9月28日(金)
第2回検討会	平成19年10月4日(木)
第3回検討会	平成19年10月11日(木)
第4回検討会	平成19年11月15日(木)

・ 校名アンケート

別添のとおり

・ 検討会委員

委員長	古 井 景
委員長職務代理者	水 野 正 人
委員	今 村 繁 之
委員	及 川 和 子
委員	片 岡 有 紀 子
委員	川 本 銛 男
委員	小 林 元
委員	武 田 立 史
委員	山 本 美 保

### 3 委員長総括

水野正人氏をはじめとして、8名の方々のお力添えにより、新設小学校の学校名に関する検討を執り行うことができましたことを、まず、お礼申し上げます。また、毎回多くのかたがたの傍聴を賜りましたことも、検討会としての責任の重さを痛感させられるものでありました。今回の検討におきましては、長久手町が持つ古来の歴史を重視する立場からの意見と、新しく開発された地域であり、外部からの入居者を意識し、むしろ従来の長久手のイメージを感じさせない学校名がふさわしいとの意見との両者に分かれるという結果に至りました。委員長を除いた判断として、「市が洞」は、歴史的に重みのある学校名でありこの地特有の名称であること、代々に渡り児童に学校名の由来を説明することができることなどの理由から新設小学校にふさわしいとする意見が4名、これに対して、歴史にこだわることなく、多くの地域で用いられている名称であり、受け入れやすいイメージであることから「南が丘」が好ましいとの意見が4名と二分する形となりました。

委員長判断としましては、住民アンケートの中のご意見にも有りま

したように、「私立ではなく公立（長久手町立）」であること、「教育施設として歴史・文化を大切に」することがふさわしいと考えられること、「イメージは流動的である」ことを理由として、「市が洞」を新設小学校名としてふさわしいものとする意見を述べさせていただきました。委員長を加えて、「市が洞」が5名「南が丘」が4名との結果にもとづき、（仮称）南部地区新設小学校校名検討会として、「市が洞」を新設小学校名にふさわしいものとし、しかしながら、「南が丘」を押す意見も少なからずあったことを付記する形での答申とすることを確認して閉会した。